



📅 2022年1月17日

今月のひとこと

【Vol.229】 今月のひとこと

みなさま 新年おめでとうございます。今年がみなさまにとって充実した楽しい年となりますように願っています。マーケットも何とか年間を通して日経平均が+5.6%と一応、プラスで引けたというのはよかったというべきでしょう。もっともNYのダウ工業株平均は20%を超える上昇とは比べるべくもありません。

だからアメリカ株を買うべきだというのもまた短絡的でそのようなスポットライトの当たるマーケットは常に移動するもの。しばらく前にはB R I C sこそこれからの世界の成長エンジンとみんなが言っていました。あれはどこに行ってしまったのでしょうか。だから世界全体を保有しておけばよいということなのです。

もう少し視野を広げると戦後、日本の株式取引所が再開されたのが1949年5月です。この日の日経平均は176円でした。それを考えるとその後の約71年7か月の年平均上昇率は7.4%でした。同じ期間のニューヨークダウを見るとドル・ベースで7.7%でした。

アメリカは60年代後半から80年代初頭まで長いボックス相場がありました。しかしこの苦境の70年代にマイクロソフト、アップルが創業し、80年代末にインターネットが商用に利用できるようになり、90年代以降にはアマゾン、グーグル、フェイスブックなどが登場してきて今日のマーケットを支えています。日本の戦後の奇跡的な復興と高度成長の背景には古い体制を捨てて新しい企業が生まれてきました。ちなみにソニーもホンダも私の誕生と同じ1946年の創業です。

ようやく少しずつ日本も胎動を始めている感じがあります。日本のマーケットの低迷は個人の投資のリテラシーが足りないからではありません。市場を構成する上場企業が全体としてみれば魅力がないからです。日本の胎動が10年後、20年後の世界をけん引するような企業になるという経営がなされれば自然に生活者は株式投資を始めます。

今回の感染症の問題が大きな経済や生活の転換をもたらす自由でのびのびとした企業が生まれ育ってくれることを願っています。

+++++

FACEBOOK上で3700人以上のクラブ・インベストラライフの仲間が参加し、活発な議論をしています。投資未経験者の方の質問や疑問も大歓迎です。FACEBOOKに登録している方、ぜひ、ご参加ください。（FACEBOOKに継続的に投稿を行っている方に限定させていただいています）

みんなのお金のアドバイザー協会～FIWA



このページを印刷する

カテゴリー

今月のひとこと

タグ

【Vol.229】 2022年01月17日発行



2022年1月17日

FIWAマンスリー・セミナー座談会

【Vol.229】 FIWA®マンスリー・セミナー座談会より 安永雄彦氏を囲むフリーディスカッション

参加者： 安永 雄彦氏、岡本 和久、参加者のみなさま
レポーター： 赤堀 薫里



岡本 | 人生の目的は出世することでもないし、お金持ちになることでもない。要するにしあわせ持ちになることが、我々生きている目的であり、そこに一步步近づいていけるような生き方をすればいい。お金や投資が学びの入り口となるのが非常に面白いと思います。お金のことを勉強していると、「ご縁のネットワークの中で生きている」ということがすごくよくわかる。たった1枚の板チョコを買うことでも、その向こう側にはコートジボワールでカカオの実を取っている子供たちまでつながっていくわけです。そういうご縁のネットワークが構築されていて、その中で我々は生活が成り立っている。

それから投資は、一口に言えば時間をどのように味方につけるのかということ、それは言い換えればどう生きることかということです。お金とか投資は『ご縁のネットワークの中で我々はどう生きていったらいいの?』ということを感じ取ったためのよいきっかけになるのではないかと思います。そういう意味で今日すごく納得感があるお話がたくさんありました。

参加者 | 岡本さんのお話で一番気になったこと。アメリカは合理的な話はすぐ実行するけれど、日本は15年遅れるというところが一番面白かったです。既得権益の人に退場してもらったり、忖度したりするのに15年かかるということだと思います。これは先ほどの安永さんのお話で、今までのやり方では宗教法人はだめになるということを理解してもらうのにおそらくかなりの時間がかかったということと、共通すると思います。一つ思うのは私が会員になっているFIWA®もこれが常識になるには15年かかるのかなと、長期でやっていく活動になるだろうなとお話を伺って思いました。

親鸞聖人は、「歎異抄」「他力本願」「悪人正機」という言葉が頭に浮かびます。ダークサイドとか人生は諦めるというのは、親鸞聖人の「悪人正機」や「他力本願」というのを現代風にアレンジして、安永さん流に咀嚼しておっしゃっていることだと思います。本願寺は仏教といいますが、そのキラークンテンツは親鸞聖人の教えだと思います。それをどういう形で具体的に表に出してやっていらっしゃるのか。それとも仏教徒という立場でみなさんの心に寄り添う、どちらかというともデレートの形でされていられるのか、その中心戦略みたいなところを教えただけだと思います。

フリーディスカッション

安永 | こういう講演では、親鸞のご講義がどうだとか、念仏者の生き方はどうだとか、なるべく仏教用語を使わずにしています。この5つの条件はそれぞれ全部仏教的考え方を違う表現で述べているだけです。

ある意味、仏教という思想体系そのものが人生哲学の体系みたいなもので、何かの拍子に誰かが利用すると宗教になるだけで、宗教的な熱気を帯びた運動に展開していったりするのには知りません。どちらかというといつの時代にも起こりうる人間の煩惱、ダークサイドと自分との葛藤や闘いをどうやって解決していくのか。お釈迦様が始めた仏教そのものもどうやって苦を無くして楽を与えていくのか。そういったものを客観的に受け入れられる、悟っていかれる教えの体系、哲学の体系です。

私的にはこれのどこが宗教なんだろうと思うところがあります。宗教教団が宗教教団として生きて行くためには、それなりにちゃんと集客をして、お金が集まる仕組みを作り、お寺を建て儀式を行うとかたちが何千年もかかって出来ているので、これには価値があります。ただ個人ということにフォーカスして言えば、現代人にとって、取捨選択して自分の生きる中で役に立つのであれば取り入れたらいいし、先祖崇拜が大事だと、家族制度がある程度大事だと思えばそれは守るようにしたらよい。自分自身の人生を生きる上で、宗教的な支えが必要だと思えば取り入れればいいし、それは自由に選択する時代だと私自身は考えています。

築地本願寺の活動そのものは、簡単に急展開できません。宗教用語を使わずにやさしく説いてくれといっても、ほとんどの人はそれができません。ただ、大きな方向性としては親鸞聖人が仏になった。彼が一生を通じて闘った人間が抱える煩惱をどう消化していくのかは、現代人と全く同じだと思うのでそこを現代風にどう伝えていくのかが、今この現代に生きる宗教者の役割だと考えています。できるだけ宗教用語を使わずに、お経の引用もせずに本質的なことを伝えていく。そうすると現代人の心を打つものがあるでしょう。そういう人がお寺に入ってきて、そこから始めて仏教用語を学び始める、お経を読み始めるということになるのかなと思っています。

岡本 | 生活者レベルに受け入れてもらえるようなメッセージ性が、すごく必要ではないかと思います。投資というとすぐに売ったり買ったりという話になってしまいます。長い年月をかけて積立て、長い間、保有して将来の自分のために役立てるという考え方に変えていかないと本格的な資産形成、資産運用になっていかないのではないかと思います。

参加者 | 築地本願寺というところは、非常に敷居が高いところだと感じていましたが、銀座サロンから学びをさせて頂ければなと思っています。私が持っているお寺という概念を崩すというか、民衆に沿うような形で組織を改革するということは、岡本先生のアメリカから15年かけて日本が変わるというように、本願寺もお寺やお坊さんの中に既得権益みたいなモノがあって、徐々に、徐々に改革されたと思います。その辺は何年くらいかけて組織を変えていったのか、お話を聞かせてください。

安永 | 組織が本当に変わるということは、とても難しいことです。僕はこう考えました。まずは形を変えよう。見え方を変えよう。そこから入ろう。最初に境内地の大改装に手をつける事ができたのは非常に幸いなことです。本山が伝統法要で集めた200億円の資金がありました。そのうちの一部を築地本願寺の改革に資本投下してもらった。そのお金と築地本願寺で積立てたお金を合せて先行投資ができたということが非常に僥倖でした。15億円くらい掛けて境内地を変えました。インフォメーションセンター、銀座サロン、コンタクトセンター、CRMのシステムだとか一気に3年くらいかけてやりました。結果的に1万2000人もの方にお越しいただきました。人の来る数が増えれば落ちていく収益は当然変わっていきます。そうすると目に見えていろいろなモノが回り始めます。

職員の仕事の平均量は2~3倍になっていると思います。それにあわせて給与体系や手当のあり方、時間外の給与も払っていなかった分も払うようにしたり、休みもとれるようにしたりと、細かい部分もチューニングしながら変えました。

仕事は大変になり、お客さんも門信徒もいっぱいくるようになりました。しかし、自分たちも豊かになったということがわかってくると、変わっていかないといけなくなります。よく、『理念教育を社員、職員に徹底したことによって変わりました』と言いますが、なかなかそれは難しい。やっぱり現実になんか少しずつ変わって行って、自分たちの生活も上向きになり、お客さまから感謝されるようになって、という小さな実感が作用して変わり始める。最初の弾み車のような。でもここまでに6年かかりました。今、昔のことを思い出せる職員は誰もいません。

小さな改革を積み重ねることによって徐々に弾み車が回り出すということなんだと思います。だから一気に変えるということはなかなかできないですね。

岡本 | 仏教は煎じ詰めれば人生哲学だという話がありましたが、本来、あらゆる宗教をずっと遡っていくと人生哲学みたいのところになっていくだろうと思います。そういう意味では一つの宗教が全世界を支配する必要もないし、究極のところはしっかりしていればいいのかなというように思います。時々変な宗教が入りますからね。本来のみんなを幸せにするような、世界を平和にするような目的をもった宗教であればそれは良いんだと思います。今日は本当に内容の濃い深いお話をありがとうございました。

このページを印刷する

カテゴリー FIWAマンスリー・セミナー座談会
タグ 【Vol.229】 2022年01月17日発行



2022年1月17日

寄稿

【Vol.229】YouTube「FIWA®みんなのお金チャンネル」より岡本・岩城が資産運用を語る

動画・対談：岡本 和久・岩城 みずほ

特定非営利活動法人「みんなのお金のアドバイザー協会～FIWA®」がYouTubeでお送りしている「FIWA®みんなのお金チャンネル」で、昨年4月から8月まで全18回にわたってお金にまつわるさまざまなお話を岡本和久と岩城みずほでお送りしました。いろいろなテーマがカバーされていますので興味のある部分をお聞きいただき参考にしていただければありがたいです。「FIWA®みんなのお金チャンネル」は毎週水曜日に配信していますので是非、チャンネル登録をして聞いてみてください。

A small icon of a video player with a play button, followed by the text 'FIWA®みんなのお金チャンネル'.

#01 NPO法人 みんなのお金のアドバイザー協会～FIWA®のご紹介 (3m15s)

FIWA®のビジョン及び生活者とアドバイザーのためのミッションについて理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/04/07

#01 NPO法人 みんなの...



#02 投資は怖い？怖いという気持ちはどうすればいいのでしょうか (6m14s)

投資は怖い！と思っている方も多いものです。これは誤解に基づくものです。どんな誤解なのか、理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。

2021/04/14

#02 投資は怖い？怖いと...

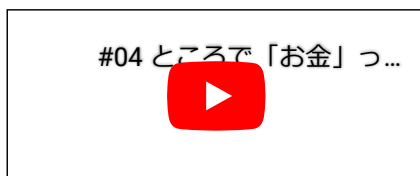


#03 持っている株や投資信託の値段が下がったときはどうすればいい？ (5m22s)

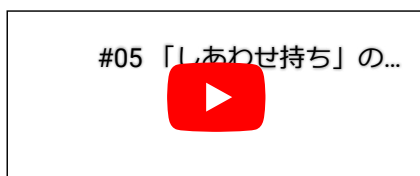
持っている株や投資信託の値段が下がったとき不安になりますよね。こんな時どうすればいいのか？ 理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/04/21

**#04 ところで「お金」ってなんでしょう？ (6m06s)**

お金は「しあわせ持ち」になるための道具？ 理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/04/28

**#05 「しあわせ持ち」の人生にするのに必要なことは？ (4m47s)**

「しあわせ持ち」になるために大切な六つの「富（ふ）」、しあわせの六角形をつくりましょう。理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/05/04

**#06 なぜ資産形成が必要なのか？ (2m51s)**

なぜお金とためなければならぬのか。なぜ投資をするのでしょうか？ 将来の自分は今の自分が支えるのです。理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/05/12

#06 なぜ資産形成が必要...**#07 生活者が経済的自由を手に入れるためには (5m26s)**

投資を成功させるのは全世界の株式インデックスファンドをできるだけ若いうちから積み立てること。資産運用の目標収益率の考え方は？誰でも簡単にできる75文字の投資戦略とは？ 理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/05/19

#07 生活者が経済的自由...**#08 なぜ株式に投資することが大切なのか？ (6m27s)**

投資とはお金にも働いてもらうこと。大切なのは何かがあっても絶対に資産運用を止めないこと。なぜ長期が大切なのでしょう。株式の価値はどのように増えるのでしょうか。理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/05/26

#08 なぜ株式に投資する...**#09 なぜ、全世界の株式インデックスファンドなのか？ (5m14s)**

全世界の株式を保有しているとなぜ購買力を維持する以上の収益をあげられるのか。世界中のトップ・ブレインが我々のために額に汗して働いてくれます。理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/06/02

#09 なぜ、全世界の株式...

#10 なぜ長期投資なのか？ (6m01s)

絶対に知っておくべき「72の法則」とは？時間を味方につける事こそ成功の秘訣です。でも長期投資の長旅には三つの「魔」が登場します。理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/06/09

#10 なぜ長期投資なのか...



#11 インデックスファンドってなに？ (5m36s)

これまでも全世界の株式インデックスファンドを長期で持ちましようとお伝えしてきましたが、そもそもインデックスファンドってなんでしょう？どんなメリットがあるのでしょうか。理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/06/16

#11 インデックスファン...



#12 アドバイザーと販売員の違いとは？ (6m11s)

販売もアドバイスもどちらも大切な仕事です。でもそれぞれ違う仕事なのです。相談者のニーズに合わせて本当に良い金融商品を勧めるのがアドバイザー。では本物アドバイザーの見分け方は？理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/06/23

#12 アドバイザーと販売...



#13 良いアドバイザーってどんな人？ (6m13s)

良いアドバイザーとはどんな人のことをいうのでしょうか？相談者のライフプランの中で必要とされるお金との付き合い方を指導してくれるのが良いアドバイザーです。ライフプランの全体像を把握して、それを実現するために必要なことをアドバイスするのが良いアドバイザーです。自分の理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/06/30

#13 良いアドバイザーっ...



#14 人生を豊かにするにはどうすればいい？ (5m42s)

真の豊かさをつくるためにどうすればいいのか？人生設計の基本公式とはなに？「収入－将来のためのお金＝支出」という発想が大切です。未来の安心のための五つのポイントとは？理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/07/07

#14 人生を豊かにするに...



#15 資産運用の基本のキ (5m20s)

資産運用の心構えとはどのようなもの？「四つの『ない』（シナイ）」と「五つの不要（ゴフヨウ）」とは？和風資産運に注目！！そして、人生を通じての資産運用は『歯みがき』のようなもの！？理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/07/14

#15 資産運用の基本のキ



#16 投資信託ってなに？ (6m11s)

投資信託ってなんだろう？イメージが悪い？でも、個人投資家にはなくてはならないもの？理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/07/21

#16 投資信託ってなに？



#17 投資信託はどう選ぶ？ (5m34s)

どうして投資信託のイメージが悪いのか。なぜ今日のような姿になったのか、そして1999年からのニュートレンドとは？勧められたものを買うのではなく自分にとって必要なものを買うことが大切。たくさんある投資信託から、どうやって選べばいいのか？ 理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。

#17 投資信託はどう選ぶ？



#18 超簡単な資産形成の方法って？ (6m03s)

超簡単な資産形成。なぜ積立なのか？ 課税口座と非課税口座が生み出す驚くほど大きな収益の違い。理事長の岡本和久と副理事長の岩城みずほが対談形式でお話します。2021/08/04

#18 超簡単な資産形成の方法って？



カテゴリー

寄稿

タグ

【Vol.229】2022年01月17日発行

2022年1月17日

トリビア・コーナー

【Vol.229】知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

1945年生まれ。1968年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員（調査本部長）を務める。2004年に退職。

Facebook上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



将棋盤の裏には「血だまり」というへこみがある

脚付き将棋盤の裏側の中央部分にはへこみ（四角形のへこみの中に四角錐が埋め込まれた形）がある。

この部分の正式名称は「音受け」であるが、俗に「血だまり」と呼ばれ、対局中に横から口を挟む第三者の人間の首を切って、引っくり返した盤を台にして首をそこに置いて血を溜めたという言い伝えがある。



実用上の目的としては、盤に駒を指したときの音が良くなるようにと作られたもので、「音受け」の名前はこれに由来する。また、製造工程で盤にひびやゆがみが発生しないようにしているもので、『日本将棋事典』によれば、盤の内部の水分をここから外に逃がしているものである。

ちなみに、将棋盤の脚は伝統的な建築物の装飾などに用いられる擬宝珠型の八角形をしているが、その形がクチナシの実に似ていることから、他人が勝手に口を出すなという意味合いがある。

岸を変える

「河岸（かし）」とは川岸のことで、特に、舟から人や荷物の揚げ下ろしをする場所をいう。また、魚市場・魚河岸のこともいい、現在はこの意味で用いることが多い。

江戸時代は新吉原を囲む掘割沿いの通りを「河岸」といい、そこにある遊女屋のこともいった。「岸を変える」といえば、もともとは遊女が抱え主や働き場所を変えることで、そこから転じて、一般に遊び場所を変える意味になったのである。

ゼロ戦（零式艦上戦闘機）



ゼロ戦（愛称）は大東亜戦争期における日本海軍の主力艦上戦闘機。当時の日本の軍用機は、採用年次の皇紀下2桁を名称に冠する規定になっていた。ゼロ戦の「零式」の名称は、運用開始した1940年（昭和15年）が皇紀2600年にあたり、その下2桁が「00」による命名である。

ゼロ戦は大東亜戦争初期、2200kmに達する長大な航続距離・20mm機関砲2門の重武装・優れた格闘性能によって、米英の戦闘機に対し圧倒的優位を収め、大東亜戦線の占領地域拡大に貢献し、米英パイロットからは「ゼロファイター」の名で恐れられた。しかし戦争中期以降には、米陸海軍の対ゼロ戦戦法の確立、米陸海軍の新鋭機的大量投入などによって、ゼロ戦は劣勢に追い込まれてしまった。軽量であることが、（当初は）速度や航続距離等で優位を發揮したものの、防御力が弱い欠点を露呈してしまったのである。

（参考文献）「零式戦闘機」（吉村昭著、新潮文庫）・写真はウィキペディアより

隗より始めよ

中国の戦国時代、燕の昭王は隣国の斉との戦いに腐心していた。そこで広く有能な士を招くことを考え、知恵者の郭隗に尋ねた。

隗は「昔、千金で千里を駆ける馬を求めた者がいましたが、何年たっても名馬は手に入らない。すると、その家の使用人が『私が求めてきます』といったので千金を預けました。まもなく名馬を見つけましたが、すでにその馬は死んでいました。ところがこの使用人は死んだ馬を五百金で買って戻ってきました。主人は激怒しましたが、使用人は『死んだ馬を五百金で買うのだから生きた馬はもっと高い値で買ってくれるだろうと評判になります。やがて名馬は黙っていてもやってきますよ』と言った。果たして1年もたたないうちに名馬が何頭も集まったといえます」

「王が本当に有能な士を招きたいとお思いでしたら、まず隗から始めてください。私のようなものが過分の厚遇を受けていることが知れ渡れば、有能な士は自然と集まってきます」この進言に従って昭王は郭隗を優遇し、彼に師事した。すると魏から名将の楽毅が、斉から鄒衍（すうえん）など多くの人材が燕に集まった。

この故事から「隗より始めよ」という成語が生まれた。大事をなすときは言い出した者がまず始めよ、という意味で使われる。

騎手のことをなぜジョッキーというのか

ジョッキー（jockey）といえば競馬の騎手のこと。この言葉、競馬の発祥地であるイギリスでは、もともと馬を扱う仕事についていた若者たちのことを言っていた。

スコットランドでは、昔から大人の男を「ジョック」と呼ぶ風習があった。イギリスでは名前の知らない人を「ジャック」と呼んでいたが、スコットランドでは蔑称風に「ジョック」と呼んでいたのだ。

そして大人の男の「ジョック」に対し、若い少年、とくに馬の世話をしている少年たちのことを「ジョッキー」と呼んでいた。競馬が始まったときに騎手になったのはこの馬の世話をしていた若者たちだった。そこから騎手のことをそのまま「ジョッキー」と呼ぶようになったのである。

このページを印刷する

カテゴリー

トリビア・コーナー

タグ

【Vol.229】 2022年01月17日発行

2022年1月17日

FIWA理事リレー投稿

【Vol.229】FIWA代表理事リレー投稿「富と欲と幸福についての永遠の教訓」

寄稿：FIWA®協会 副理事長 原田 武嗣

「富と欲と幸福についての永遠の教訓」は、モーガン・ハウゼン著「お金の心理学」(注1)のサブタイトルです。私が昨年読んだ本の中で一冊の本を選ぶとすれば、躊躇なくこの本を選びます。

本のタイトルからは、行動ファイナンスの専門書みたいですが、サブタイトルを読むと、ごく普通の人が自分の人生を歩んでいく上で、何か参考になる話を書いてあるのかしら、と興味をそそられませんか？そう、この本は金融の専門家もごく普通の生活者も含めて全ての人々が、お金とより良い関係を築き、お金に関するより賢明な決断をするための方法を20の実行可能な教訓として提示してくれる人生の実践本です。



この本の「はじめに 地上最大のショー」の中で、著者は興味深い二人の人物の逸話を紹介しています。一人は、金融業界で大成功を収め、40代で引退して慈善家になったリチャード・ファスコン。彼は、その後、2008年の金融危機で破産宣告を受け、まず、パームビーチの別荘を差し押さえられ、2014年には自宅豪邸も差し押さえられました。もう一人は、同じ2014年に92歳で亡くなり、地味な清掃員から慈善家になったロナルド・リードです。彼は、わずかなお金を貯めては、優良株に投資して、何十年も持ち続け、わずかな貯金が10億円近くの資産になりました。それだけです。そして、彼は遺言により清掃員から慈善家になりました。リチャード・ファスコンは貧欲でしたが、ロナルド・リードは辛抱強かったのです。ロナルドのようになれ、リチャードのようになるなというのがこの逸話の教訓です。「大学の学位もなく、訓練も受けず、経歴もなく、正式な経験もなく、コネもない人が、最高の教育、最高の訓練、最高のコネを持つ人を大きく凌駕する業界は他にあるでしょうか？思い当たる節がない。・・・(中略)・・・しかし、投資の世界では、このような話はよくあることである。」と著者は指摘します。その理由として、(1)金融の成果は知性や努力とは無関係に運によることがある程度真実であることと、(2)(より一般的だと思われるが)、経済的な成功はハードサイエンスではなく、ソフトスキルであり、何を知っているかよりも、どう行動するかが重要であることを著者は指摘します。このソフトスキルを「お金の心理学」と著者は呼んでいます。そして、以下のように「はじめに」に続く20章で著者が考える「お金の心理学」の最も重要で、しばしば直感に反する特徴を説明しています。

1章 誰もクレイジーではない

お金に関するあなたの個人的な経験は、世の中で起きていることの0.00000001%程度ですが、あなたが世の中をどのように考えているかの80%程度を占めていると思います。

2章 運とリスク

何事も見かけによらず、良いことも悪いこともあるものです。

3章 決して十分ではない

お金持ちがおかしなことをするとき

4章 複合的な複利計算 (Confounding Compounding)

ウォーレン・バフェットの845億ドルの純資産のうち、815億ドルは65歳の誕生日以降に得たものである。私たちの頭は、このような不条理を処理できるようなにはできていない。

5章 富を得ることと富を維持すること

良い投資とは、必ずしも良い決断をすることではありません。一貫して失敗しないことである。

6章 ロングテール

半分くらい間違えても、大儲けできる。

7章 自由

時間をコントロールすることは、お金から得られる最も高い配当です。

8章 マン・イン・ザ・カー パラドックス

あなたほど、あなたの持ち物に感心する人はいない。

9章 富とは目に見えないもの

自分がどれだけお金を持っているかを人に見せるためにお金を使うことは、お金を少なくする最も早い方法である。

10章 お金を貯める

あなたがコントロールできる唯一の要素が、重要なことの一つを生み出している。なんと素晴らしいことでしょう。

11章 リーゾナブル > ラショナル

冷徹に合理的であろうとするよりも、ほぼ合理的であろうとする方が効果的である。

13章 エラーの余地

すべての計画で最も重要なのは、計画が計画通りに進まない場合の計画です。

14章 あなたは変わる

長期計画は案外難しいものです。なぜなら、人の目標や願望は時間とともに変化していくからです。

15章 タダなものはない

すべてのものに値段がついていますが、すべての値段がラベルに表示されているわけではありません。

16章 あなたと私

自分とは違うゲームをしている人から金銭的なヒントを得ることに注意する。

17章 悲観主義の誘惑

楽観論は売り込みのように聞こえる。悲観論は、誰かがあなたを助けようとしているように聞こえます。

18章 何でも信じてしまうとき

魅力的なフィクション、そしてなぜストーリーは統計よりも強力なのか。

19章 さあ、全体のまとめ

自分のお金に関する心理を知ることができたこと。

20章 告白

自分のお金に関する心理

繰り返しになりますが、この本は、単なる知識本ではなく、お金とより良い関係を築き、お金に関するより賢明な決断をするための方法を20の実行可能な教訓として提示してくれる人生の実践本です。

「生活者が経済学束縛から解放され豊かで幸せな人生を実現」(注2)ための知恵が詰まっています。興味を持たれた方は是非読んでみてください。

(注1) “The Psychology of Money TIMELESS LESSONS ON WEALTH,GREED,AND HAPPYINESS”,MORGAN HOUSEL,「サイコロジー・オブ・マネー 一生お金に困らない「富」のマインドセット」モーガン・ハウセル(著/文)、児嶋 修(翻訳)として、邦訳が2021年12月に刊行されている。

(注2) 特定非営利活動法人「みんなのお金のアドバイザー協会～FIWA」

ビジョン：当協会は、生活者が経済的束縛から解放され豊かで幸せな人生を実現できるための支援活動を行います

生活者のためのミッション：人生を通じてのお金との正しい付き合い方の知識を普及し、自ら合理的・効果的な資産運用を実行し、また、アドバイザーとの効果的・生産的な関係を構築できるよう啓蒙活動を行います

アドバイザーのためのミッション：生活者のためのライフプラン、金銭、投資、資産運用等に関するアドバイスが完全に利益相反のない形で行われ、当協会の理念に基づき行動するお金のアドバイザーを育成、認定、支援する

このページを印刷する

カテゴリー

FIWA理事リレー投稿

タグ

【Vol.229】2022年01月17日発行

<モデルポートフォリオ:2021年12月末の運用状況>

単位: %

		トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率			
		1ヵ月	1年	5年 (年率)	10年 (年率)		10年 (年率)	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円
4資産型	積極型	3.84	20.35	10.09	13.53	15.07	9.53	36.64	79.03	152.00
	成長型	2.55	13.29	7.06	10.01	10.23	6.38	24.52	51.19	105.18
	安定型	1.26	6.55	3.93	6.40	6.00	3.31	12.97	27.17	63.87
2資産型	積極型	4.56	26.51	12.38	14.74	16.15	12.46	47.20	94.56	194.37
	成長型	3.15	17.57	8.83	11.19	11.61	8.50	32.08	62.14	133.22
	安定型	1.73	9.12	5.17	7.56	7.80	4.64	17.92	34.44	80.88

* 投資にかかるコストは控除していない。積み立ては、税引き前分配金再投資。ポートフォリオは毎月リバランスをしたものとする。積み立ては計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2020年12月末に1万円投資資金を積み立て始め、2021年11月末の投資資金までとする(2021年12月末積み立て分は運用期間がないため含めていない)。出所:イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがMorningstar Directにより作成。Morningstar Directについてのお問い合わせは、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンのお問い合わせメール(<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>)まで。

ポートフォリオの資産配分比率(外貨建て資産は円換算ベース)

4資産型		国内株式: TOPIX	外国株式: MSCI KOKUSAI	国内債券: NOMURA- BPI (総合)	外国債券: FTSE WGBI (除く日本)	
		積極型	40%	40%	10%	10%
		成長型	25%	25%	25%	25%
		安定型	10%	10%	40%	40%
2資産型		世界株式: MSCI ACWI (含む日本)		世界債券: FTSE WGBI (含む日本)		
		積極型	80%	20%		
		成長型	50%	50%		
		安定型	20%	80%		

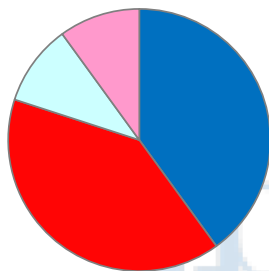
ポートフォリオは「インベストライフ」が参考のために考案した資産配分に基づき、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出しています。特定の資産配分による投資の推奨を行うものではありません。

「長期投資仲間」通信『インベストライフ』のその他の記事はこちらからご覧ください。
<http://www.investlife.jp/>

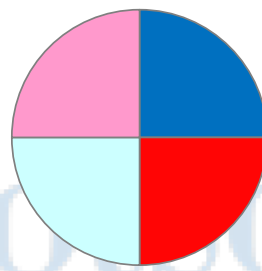
4資産型

- 国内株式: TOPIX
- 外国株式: MSCI KOKUSAI
- 国内債券: NOMURA-BPI (総合)
- 外国債券: FTSE WGBI (除く日本)

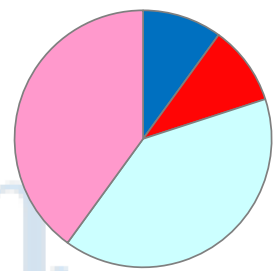
積極型



成長型



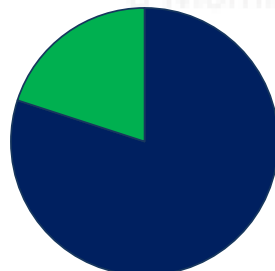
安定型



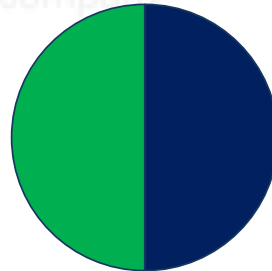
2資産型

- 世界株式: MSCI ACWI (含む日本)
- 世界債券: FTSE WGBI (含む日本)

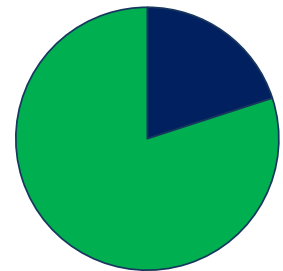
積極型



成長型



安定型



<純資産上位ファンド(毎月および隔月決算型を除く):2021年12月末の運用状況>

当資料は「インベストライフ」のために、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出、作成しています。特定の投資信託による投資の推奨を行うものではありません。

今回順位	前回(21年9月末)順位	運用会社名	ファンド名	トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率				1万円ずつ積み立てた場合の月末資産額				2021年12月末		イボットソン分類
				1か月	1年	5年(年率)	10年(年率)		10年(年率)	1年12万円	5年60万円	10年120万円	2000年1月~264万円	1年12万円	5年60万円	10年120万円	2000年1月~264万円	純資産(億円)	
1	1	AM-One	グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	-1.4	9.6	—	—	—	2.9	—	—	—	12.3	—	—	—	11,549	12,601	外国株式・世界型
2	5	三菱UFJ国際	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	4.2	44.5	—	—	—	21.3	—	—	—	14.6	—	—	—	9,488	19,204	外国株式・北米型
3	3	ゴールドマン・S	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	1.1	34.7	26.1	24.6	22.9	16.0	98.2	244.8	514.5	13.9	118.9	413.7	1622.4	8,173	26,772	外国株式・北米型
4	4	AM-One	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	-0.7	10.6	23.0	—	—	2.2	71.7	—	—	12.3	103.0	—	—	7,329	30,592	外国株式・世界型
5	2	日興AM	グローバル・プロスペクティブ・ファンド	-11.0	-17.8	—	—	—	-18.8	—	—	—	9.7	—	—	—	7,090	19,907	外国株式・世界型
6	7	AM-One	投資のソムリエ	-0.1	0.3	2.6	—	—	0.1	7.1	—	—	12.0	64.3	—	—	6,481	12,289	アロケーション・リスクコントロール型
7	6	三井住友トラスト	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	-0.2	17.2	—	—	—	7.4	—	—	—	12.9	—	—	—	6,047	19,719	外国株式・世界型
8	13	アライアンス・B	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	3.4	42.9	24.2	24.2	19.9	22.5	97.2	234.3	—	14.7	118.3	401.1	—	5,689	49,742	外国株式・北米型
9	9	フィデリティ投信	フィデリティ・日本成長株・ファンド	1.5	11.9	11.5	14.3	19.6	6.4	38.9	87.7	135.0	12.8	83.4	225.2	620.3	5,084	33,406	国内株式・大型成長型
10	10	レオス	ひふみプラス	1.3	3.3	11.9	—	—	0.5	27.6	—	—	12.1	76.6	—	—	4,796	51,081	国内株式・キャッシュパラランス型
11	16	楽天投信	楽天・全米株式インデックス・ファンド	3.3	40.9	—	—	—	18.6	—	—	—	14.2	—	—	—	4,718	20,094	外国株式・北米型
12	21	SBI AM	SBI・V・S&P500インデックス・ファンド	4.2	44.2	—	—	—	21.2	—	—	—	14.5	—	—	—	4,589	17,606	外国株式・北米型
13	14	日興AM	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	4.6	30.0	19.8	—	—	15.5	77.4	—	—	13.9	106.5	—	—	4,515	12,028	外国株式・世界型
14	11	T・ロウ・プライス	ティー・ロウ・プライス 米国成長株株式ファンド	-0.7	27.5	—	—	—	12.1	—	—	—	13.4	—	—	—	4,511	16,228	外国株式・北米型
15	15	ゴールドマン・S	GSフューチャー・テクノロジー・リーダーズBコース(為替ヘッジなし)	-0.2	25.3	—	—	—	9.9	—	—	—	13.2	—	—	—	4,341	19,152	外国株式・世界型
16	8	日興AM	デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド	-12.6	-17.0	—	—	—	-20.0	—	—	—	9.6	—	—	—	4,248	10,765	外国株式・世界型
17	12	三井住友DS	グローバルAIファンド	-3.2	21.0	28.6	—	—	5.0	122.9	—	—	12.6	133.8	—	—	4,240	38,081	外国株式・世界型
18	19	三菱UFJ国際	サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	-2.3	37.6	—	—	—	20.5	—	—	—	14.5	—	—	—	4,154	31,837	外国株式・世界型
19	23	三菱UFJ国際	eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	3.7	32.7	—	—	—	14.5	—	—	—	13.7	—	—	—	3,967	16,971	外国株式・世界型
20	18	日興AM	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	4.6	30.0	19.9	—	—	15.4	77.7	—	—	13.8	106.6	—	—	3,806	27,883	外国株式・世界型

対象は追加型株式投資信託のうち2021年12月末時点で1年以上の運用実績があるもの(毎月・隔月決算型、ETF・DC・SMAなど専用投資信託を除く)。

積み立ては税引き前分配金再投資、計算月数分を運用したものとす。例えば1年の場合は2020年12月末に1万円で積み立てを開始し、2021年11月末投資分までの2021年12月末における運用成果とする(2021年12月の積み立て額は入れない)。

出所: MorningstarDirectのデータを用いてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンが作成。MorningstarDirectのお問い合わせはイボットソン・アソシエイツ・ジャパンのお問い合わせメール(<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>)にてご送信ください。